

わくわく登園 にこにご降園

2月の園だより



薩摩川内市立ひわき幼稚園 令和5年度2月号

節分

「節分」には季節を分けるという意味があり、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。昔は立春が1年の始まりだったので、節分といえば立春の前日を指すようになりました。悪いものや災いにたまた鬼を、豆をまいて追い払い、1年の無病息災を願います。

というわけ

鬼登場!



縁起物ですから!

ちなみに

※節分の豆まきに使う豆、落花生をまくのは鹿児島県だけなのだそう。他府県では、大豆をまくのだそう。でも、大豆をまくと後で拾って食べられなので、落花生の方がいいですね。まいた後、「自分の年の数だけ拾って!」となります。鹿児島県は落花生の生産量が全国3位という理由もあるようです。

※ 昔は、節分の次の日の朝は、早く学校に行っていました。鹿児島には、節分にお金をまくという習慣もあって、朝早く学校に行くと、三叉路にお金落ちていたので、拾って歩いたものでした。これは、厄除けという意味があるようです。今は、見かけなくなりましたね。結構たくさん集めて、おやつを買っていました。

そうすると



良い姿勢を保つには

小学生になると、良い姿勢を持続させるといいます。良い姿勢とは、全身の力を抜いて、頭のとっぺんを上に向けて伸ばした状態です。良い姿勢が保てるようになると、学習に集中できて、学力向上にも繋がります。しかし、最近、スマホやAV機器の普及で、大人も子どもも姿勢が悪くなりがちです。良い姿勢を保つには、戸外で体を動かして骨や筋肉を鍛えるといいそうです。そうすれば、良い姿勢を保つことができると言われます。背骨の中には、脳と体をつなぐ大切な神経が入っています。寝転がってテレビを見る、食事のときにひじをついて食べる、歩くときに体が傾いているなど、姿勢が悪いと体の発育に影響が出てきます。良い姿勢を保つ工夫を早めにしておきましょう。



3月の保育計画



3歳児

- ・ 自分らしさを発揮し、いろいろなことに意欲的に取り組みながら、進級への期待感をもち。
- ・ 身近な自然の様子や春の訪れを感じる。

4歳児

- ・ 進級への期待感をもちながら、目的をもっていろいろな活動に取り組み、楽しさや充実感を味わう。
- ・ 身近な自然の様子や春の訪れを感じる。

5歳児

- ・ 1年生になる喜びや自覚をもちながら、友達といっしょに最後の園生活を楽しむ。
- ・ 春の気配に気付き、季節の移り変わりを感じる。